



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年8月3日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

上場取引所 大

コード番号 2222 URL <http://www.okashinet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部部长 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 4,604 | 8.3 | 315 | 290.5 | 319 | 300.8 | 208 | — |
| 24年3月期第1四半期 | 4,253 | △4.4 | 80 | △64.3 | 79 | △66.8 | 10 | △88.0 |

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 198百万円 (791.2%) 24年3月期第1四半期 22百万円 (△72.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 20.15 | — |
| 24年3月期第1四半期 | 1.01 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 13,302 | 6,230 | 46.8 | 600.58 |
| 24年3月期 | 13,305 | 6,239 | 46.9 | 601.48 |

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 6,230百万円 24年3月期 6,239百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | 20.00 | 20.00 |
| 25年3月期 | — | — | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 25.00 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 9,560 | 5.5 | 610 | 28.4 | 610 | 33.3 | 360 | 63.3 | 34.70 |
| 通期 | 20,500 | 3.9 | 1,820 | 16.3 | 1,820 | 19.3 | 1,080 | 53.6 | 104.11 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) (株)ジャパルシー、除外 2社 (社名) (株)加賀寿庵、(株)つきちとせ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年3月期1Q | 10,373,840 株 | 24年3月期 | 10,373,840 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期1Q | 364 株 | 24年3月期 | 347 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期1Q | 10,373,489 株 | 24年3月期1Q | 10,373,582 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| (5) セグメント情報等 | 8 |
| (6) 重要な後発事象 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における事業環境は、東日本大震災の復興需要など一部に緩やかながら回復の兆しが見られるものの、雇用情勢や所得環境の厳しさから消費者の生活防衛意識や節約志向は更に高まりを見せ、個人消費は低調に推移するなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、『新成長エンジン創り』をテーマに、高付加価値商品の開発、新規出店、新市場・新需要の開拓、人材の補強及び育成、コンプライアンスの一層の強化に注力し、経営基盤の強化及び収益性の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、4,604百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は315百万円（前年同期比290.5%増）、経常利益は319百万円（前年同期比300.8%増）となりました。また、四半期純利益は、繰延税金資産の見直しによる税金費用の減少要因があったことなどにより208百万円（前年同期の四半期純利益は10百万円）となりました。

なお、解散子会社であります株式会社加賀寿庵は平成24年4月に、株式会社つきじちとせは平成24年6月にそれぞれ清算結了いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、利益率の改善に注力し、プロモーション費用などの効率的な使用や道外僱事などの外商部門の採算管理の徹底に努め、また、新商品の開発や通信販売の強化を推進いたしました。商品展開では、ルタオ15年目の記念スイーツ「ルーローブラン」の発売、酵母を使用した「北海道生クリーム食パン」を投入したキャンペーン展開を行いました。また、道内店舗では、新規出店効果や北海道の旅行需要の回復も加わり、小樽地区及び千歳空港が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は、1,652百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は176百万円（前年同期比157.5%増）となりました。

② 寿製菓

寿製菓は、関東の代理店向けに4月に開通した新東名高速道路のサービスエリアへの新商品の投入、地元山陰地区では、古事記編纂1300年イベントと連携し、主力商品「因幡の白うさぎ」の販売強化、また、「栃の実茶」の通信販売の強化などに努めました。その結果、売上高は1,710百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は125百万円（前年同期比125.0%増）となりました。

③ 販売子会社

販売子会社は、駅・空港・高速道路などの交通機関チャンネルを中心に、販売強化に努め、名古屋地区では「小倉トーストラングドシャ」、宮崎地区では、「宮崎マンゴーラングドシャ」の拡販強化、また京都地区では、新ブランド「KYOTO VENETO（ベネト）」を立ち上げました。その結果、売上高は997百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は51百万円（前年同期比279.0%増）となりました。

④ 九十九島グループ

九十九島グループは、大手テーマパーク向けへの新商品の投入やモンドセレクション3年連続最高金賞W受賞のPR展開に努めました。その結果、売上高は654百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益4百万円（前年同期は営業損失18百万円）となりました。

⑤ 但馬寿

但馬寿は、前年同期の震災影響の反動増などにより堅調に推移し、売上高は231百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は14百万円（前年同期比840.9%増）となりました。

⑥ シュクレイ

事業の再構築を進めておりますシュクレイは、新規出店では、4月に大宮ルミネ、5月に東急百貨店渋谷店にそれぞれ「東京ミルクチーズ工場」ブランドで出店いたしました。また、僱事では4月より立川ルミネ、5月より上野駅エキュートで「コートクールシュクレ」ブランドで、6月には羽田空港で新ブランド「ザ・メープルマニア」を投入し、売上高の拡大に努めました。その結果、売上高は266百万円（前年同期比72.9%増）、営業損失は12百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。

⑦ その他

その他は、損害保険代理業及び健康食品事業が含まれております。売上高は1百万円（前年同期比6.8%増）となり、営業損失は健康食品事業の立上費用が発生したため、31百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、13,302百万円となり、前連結会計年度末と比べ3百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(335百万円)、現金及び預金の増加(175百万円)、商品及び製品の増加(84百万円)などによるものです。

負債は、7,072百万円となり、前連結会計年度末と比べ6百万円増加いたしました。主な要因は、返済及び1年内返済予定の長期借入金への振替えによる長期借入金の減少(353百万円)、確定納付による未払法人税等の減少(305百万円)などの減少要因があった一方、流動負債のその他の増加(416百万円)、短期借入金の増加(300百万円)、1年内返済予定の長期借入金の増加(219百万円)などの要因によります。

純資産は、6,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少(10百万円)によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント減少し、46.8%となり、1株当たり純資産は600円58銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に関しましては、本資料発表日現在におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期ともに前回公表数字(平成24年5月15日付「平成24年3月期決算短信」)からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において連結子会社でありました株式会社加賀寿庵は平成24年4月に、株式会社つきじちとせは平成24年6月に、それぞれ清算したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。ただし、清算終了までの損益計算書は連結しております。

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ジャバルシーを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ724千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,522,870 | 2,698,222 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,032,302 | 1,697,213 |
| 商品及び製品 | 516,280 | 600,952 |
| 仕掛品 | 26,898 | 29,893 |
| 原材料及び貯蔵品 | 303,324 | 315,445 |
| その他 | 370,684 | 429,792 |
| 貸倒引当金 | △5,472 | △4,013 |
| 流動資産合計 | 5,766,886 | 5,767,504 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 3,103,529 | 3,053,777 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 474,897 | 482,481 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 212,251 | 222,803 |
| 土地 | 2,571,639 | 2,571,639 |
| リース資産（純額） | 51,085 | 45,993 |
| 有形固定資産合計 | 6,413,401 | 6,376,693 |
| 無形固定資産 | 137,780 | 137,059 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,126,287 | 1,166,559 |
| 貸倒引当金 | △138,793 | △145,540 |
| 投資その他の資産合計 | 987,494 | 1,021,019 |
| 固定資産合計 | 7,538,675 | 7,534,771 |
| 資産合計 | 13,305,561 | 13,302,275 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 730,627 | 628,100 |
| 短期借入金 | 2,000,000 | 2,300,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 494,288 | 713,610 |
| 未払法人税等 | 459,260 | 153,467 |
| 賞与引当金 | 362,449 | 181,129 |
| その他 | 800,345 | 1,217,220 |
| 流動負債合計 | 4,846,969 | 5,193,526 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,169,617 | 816,408 |
| 退職給付引当金 | 747,869 | 764,525 |
| 役員退職慰労引当金 | 98,042 | — |
| その他 | 203,573 | 297,705 |
| 固定負債合計 | 2,219,101 | 1,878,638 |
| 負債合計 | 7,066,070 | 7,072,164 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,217,800 | 1,217,800 |
| 資本剰余金 | 1,323,161 | 1,323,161 |
| 利益剰余金 | 3,686,897 | 3,688,417 |
| 自己株式 | △312 | △326 |
| 株主資本合計 | 6,227,546 | 6,229,052 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,945 | 1,059 |
| その他の包括利益累計額合計 | 11,945 | 1,059 |
| 純資産合計 | 6,239,491 | 6,230,111 |
| 負債純資産合計 | 13,305,561 | 13,302,275 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 4,253,241 | 4,604,160 |
| 売上原価 | 2,199,459 | 2,242,209 |
| 売上総利益 | 2,053,782 | 2,361,951 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,972,857 | 2,045,953 |
| 営業利益 | 80,925 | 315,998 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 80 | 73 |
| 受取配当金 | 1,225 | 1,373 |
| 受取地代家賃 | 4,945 | 4,533 |
| その他 | 5,347 | 8,592 |
| 営業外収益合計 | 11,597 | 14,571 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 11,500 | 9,811 |
| その他 | 1,352 | 1,410 |
| 営業外費用合計 | 12,852 | 11,221 |
| 経常利益 | 79,670 | 319,348 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 39 |
| 固定資産除却損 | 222 | — |
| 投資有価証券評価損 | 30,458 | — |
| 特別損失合計 | 30,680 | 39 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 48,990 | 319,309 |
| 法人税等 | 38,561 | 110,319 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 10,429 | 208,990 |
| 四半期純利益 | 10,429 | 208,990 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 10,429 | 208,990 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,800 | △10,886 |
| その他の包括利益合計 | 11,800 | △10,886 |
| 四半期包括利益 | 22,229 | 198,104 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 22,229 | 198,104 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | |
|-----------------------|------------|-----------|---------|--------------|---------|---------|-----------|
| | ケイシー シー | 寿製菓 | 販売子会社 | 九十九島 グループ | 但馬寿 | シュクレイ | 計 |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,523,046 | 1,044,279 | 933,287 | 551,063 | 77,933 | 122,019 | 4,251,627 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 107,605 | 446,457 | 134 | 76,288 | 136,835 | 32,364 | 799,683 |
| 計 | 1,630,651 | 1,490,736 | 933,421 | 627,351 | 214,768 | 154,383 | 5,051,310 |
| セグメント利益 (△は損失) | 68,558 | 55,589 | 13,608 | △18,657 | 1,586 | △11,159 | 109,525 |

| | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,614 | 4,253,241 | — | 4,253,241 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 799,683 | △799,683 | — |
| 計 | 1,614 | 5,052,924 | △799,683 | 4,253,241 |
| セグメント利益 (△は損失) | 591 | 110,116 | △29,191 | 80,925 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額△29,191千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額110,194千円、セグメント間取引消去額3,034千円、たな卸資産の調整額△797千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△141,622千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | | |
|-----------------------|------------|-----------|---------|--------------|---------|---------|-----------|
| | ケイシイ シイ | 寿製菓 | 販売子会社 | 九十九島 グループ | 但馬寿 | シュクレイ | 計 |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,567,679 | 1,138,045 | 971,776 | 584,175 | 73,838 | 266,923 | 4,602,436 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 85,274 | 572,713 | 26,133 | 69,831 | 157,598 | — | 911,549 |
| 計 | 1,652,953 | 1,710,758 | 997,909 | 654,006 | 231,436 | 266,923 | 5,513,985 |
| セグメント利益 （△は損失） | 176,550 | 125,049 | 51,578 | 4,118 | 14,922 | △12,371 | 359,846 |

| | その他 （注）1 | 合計 | 調整額 （注）2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 （注）3 |
|-----------------------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,724 | 4,604,160 | — | 4,604,160 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 911,549 | △911,549 | — |
| 計 | 1,724 | 5,515,709 | △911,549 | 4,604,160 |
| セグメント利益 （△は損失） | △31,883 | 327,963 | △11,965 | 315,998 |

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業が含まれております。

2. セグメント利益（△は損失）の調整額△11,965千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額128,670千円、セグメント間取引消去額3,316千円、たな卸資産の調整額△2,626千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△141,325千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益（△は損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度中において子会社の状況に変動があったことに伴い、セグメント名称を「つきじちとせ」から「シュクレイ」に、「販売子会社（11社）」から「販売子会社」にそれぞれ変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。